

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



国際会議場
◀ 正面入口

人類文明史における
環境問題の意
義解明
2020年
1月11日~12日
あいち・なごや
生物多様性EXPO
未来へつなぐ国連生物
多様性の10年「せい
りレーキシングイベント
場所：熱田区
(国際会議場)

愛知県専大村氏が
出展ブースに挨拶巡回



第70回植樹祭のお礼と
10年前のCOP10の話も
しました。

各団体の発表
会場。

ランバン氏は人工衛星からの
画像を利用して地表の
状態を調べるリモートセン
シング技術と独自の時系
別解析手法で、土地利用
の変化が地球の自然システ
ムへの悪影響を及ぼして
いることを指摘した。
例えば、流行病学者たちが
共同で、土地利用変化
と蚊などの媒介生物によ
る病気の蔓延との関係
性の研究などを行った。
その中で、森林破壊から
森林保護に転換した国に
おいては、木材消費
が増え、森林破壊の勢
が起きている実態を
指摘。地球規模での地
球規模が不足して

森林保全に向けた土地利用に
大きな影響。
りることを思いついた。こうした研究は
企業や公共機関の森林保護に動機を
与える。

